
普及型配管システムにおける 製品開発・設計・施工の総合検討講座

〈主催〉 産業技術交流センター

〈講師〉

齊藤平蔵 東京大学工学部建築学科
教授

齊藤 豊 ㈱P.A.C技術士事務所
専務取締役

松尾 陽 東京大学工学部建築学科
助教授

普及型配管システムにおける 製品開発・設計・施工の総合検討講座

52 年 6 月 1 日 (水)	13:00	1. 配管設計の事例研究と問題点 (1)配管の平面計画上の問題点と今後 東京大学 工学部建築学科 教授 齊藤平蔵氏 (2)排水・通気系統の設計手法における問題点 東京大学 工学部建築学科 助教授 松尾陽氏 (3)通気管・排水管(二重配管)の問題点と今後 芝浦工業大学 工学部 建築工学科 助教授 安部照氏 (4)配管接合部(ジョイント)の開発状況と今後の動向 ㈱小島製作所 代表取締役 小島徳厚氏 (5)○中水道設計の問題点と今後の動向 ○配管ユニットの問題点などを中心に ㈱P.A.C.技術士事務所 専務取締役 齊藤豊氏
	14:30	
	14:35	
	15:30	
	17:00	
6 月 2 日 (木)	10:00	2. 中高層・集合住宅における配管ユニットの開発ポイント ○建築計画との関連 ○部品のライフサイクルの問題点などを中心に 鹿島建設㈱建築設計本部 設備設計部システム技術課 課長代理 木俣信行氏 3. 配管ユニットの施工上の問題点と今後の解決方法 (1)外的要因—建築制度上の問題点 (2)内的要因—フレキシビリティ・HASSの問題点 (3)取り合い部—規準法施行令・消防法・HASSの問題点 昭和設備工業㈱ 代表取締役 吉原一雄氏
	11:30	
	11:35	
	13:00 〔昼食〕	
14:00	2. 中高層・集合住宅における配管ユニットの開発ポイント ○建築計画との関連 ○部品のライフサイクルの問題点などを中心に 鹿島建設㈱建築設計本部 設備設計部システム技術課 課長代理 木俣信行氏 3. 配管ユニットの施工上の問題点と今後の解決方法 (1)外的要因—建築制度上の問題点 (2)内的要因—フレキシビリティ・HASSの問題点 (3)取り合い部—規準法施行令・消防法・HASSの問題点 昭和設備工業㈱ 代表取締役 吉原一雄氏	
15:30		
15:35		
17:00		

-----キ-----リ-----ト-----リ-----セ-----ン-----

配管システムの総合検討講座		No.
社名 所属		
受講者名	殿	
昭和52年6月1日(水)午後1時～5時 2日(木)午前10時～5時 の2日間		
東京文化会館4階 会議室〔上野公園1番の2〕		
主催	産業技術交流センター TEL 03 (552) 7741	受付印 なきものは 無効

申込書・配管システムの総合検討講座	
昭和52年 月 日	
貴社名 所在地	〒 TEL
ご氏名	ご所属・役職名
連絡担当者	
切り取りの上ご送付ください 受講料の支払い方法	請求書(要・不要) 現金送金・銀行振込(銀行)

配管設計の事例研究と問題点
—配管接合部（ジョイント）の開発状況と今後の動向—

(株) 小島製作所 代表取締役
小島 徳厚 講師

1. 配管に関する最近の課題

最近課題になつている主要事項

1. 施工誤差の調整

配管接合部には種々の原因により誤差が生じる。

設備ユニットとか防水パンの場合、先に器具が建物に固定されてくるので、それに配管する際、横枝管と立管との継手箇所に不整合の部分が生ずる。

配管をプレハブ化したりユニット化したりする場合、誤差は接合部に顕著に現われる。

従つて、施工誤差を調整できる機能を有する継手、配管工法の開発が急務。

... スライド

2. 防火区画貫通口の埋戻し処理

すき間を埋戻す工程が省略、簡略できるような継手、配管工法の開発の問題。

3. 配管が受ける変位と接合部における変位吸収

(1) 層間変位

20mm内外の変位を吸収できる継手の使用が必要(柔構造方式の場合、地震による層間変位量は階高の約 $1/180$ であるから通常階高では約20mm)